

(学校用)

様式 A-1

平成 29年 6月 15日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 成城学園高等学校・堤雄志(企画実行者: 阿久津真理名)
2. 講師氏名: Groen, Elisabeth A.博士(Ms.)
3. 同行者氏名: _____
4. 実施日時: 平成 29年 6月 10日(土) 12:30 ~ 14:00
5. 参加生徒: 1年生 2人、 2年生 11人、 3年生 5人(合計 18人)
備考: _____
6. 講演題目: The European Union, climate change, and low-carbon technology transfer to developing countries
7. 講演概要:
Political Science
Global Environmental Politics (Low-Carbon Technology Transfer)
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 30 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
企画実行者の阿久津真理名によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
用語集の配布
10. その他特筆すべき事項:

様式 A-4

サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業にご参加くださりありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答くださいますようお願いいたします。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。
(生徒たちに、今まで学校になかった「英語による多分野の授業」を経験させ、新たな視野を持たせるため)

2. 事前打ち合わせについて

コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)

- 1) 2回以上面談 1回面談 メール 電話
 その他()
- 2) 直接講師と 講師の同僚を介して 高校の英語教諭の協力
 その他()

打ち合わせた内容を教えてください。

(当日のツアー、講演内容、配布資料の準備)

3. 生徒は、講演における英語をどの程度理解できたと思いますか？

- 理解できた。 ある程度理解できた。
 あまり理解できなかった。 全く理解できなかった。

4. 講演における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？

- 専門性が高く、難解だった。 ちょうど良かった。
 より専門的な内容を講演してほしかった。

5. 事前学習は行いましたか？

- 行った(具体的な内容:用語集を事前に配布した)
 行わなかった

6. 今回の講演によって、生徒にどのような効果があったと思いますか？

英語を活用して英語以外を学ぶことで、その実用性を改めて実感してもらえたと思う。
多くの生徒が、英語を学ぶことにより興味を持ったと思う。
ヨーロッパ諸国(主にオランダ)や環境問題の実態など、新たな知識を沢山養えたと思う。

7. 全体として、今回の講演はいかがでしたか？

- 良かった 普通 良くなかった

良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。

派遣された研究者が素晴らしく、きちんと生徒の英語力を配慮した講演を行ってくれた。

8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。

9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？

- 是非活用したい 機会があれば活用したい 活用したくない

*ご協力ありがとうございました。